

## 八王子市生涯学習センター図書館

### はじめに

図書館実習の巡回指導ということで、2004年9月15日(水)の午前中に八王子市生涯学習センター図書館を訪問しました。

#### ・基本情報

##### ・八王子市立生涯学習センター図書館

- ・八王子市図書館の一分館として、八王子駅から徒歩5分にあるクリエイトホールと言う生涯学習複合施設内にあります。

### 実習生の受け入れ

この図書館は、それほど大きくない規模ではあるのですが、広報活動や立地条件もあって数多くの利用があるようです。利用が多いということは、職員の方はとても忙しいはずなのですが、そのような中で、できる限り多くのことを経験させるコンセプトで、いろいろなことをさせてもらっているようでした。たとえば、実習期間の最後のほうで、読み聞かせを行わせてもらうようでした。また、訪問した当日は夜間サービスのシフトに入るらしく、実習開始時間を遅らせて夜まで実習を行うということでした。

いろいろとさせてもらって大変だけど充実している実習のようで、なによりです。八王子市生涯学習センター図書館の職員の方々、どうもありがとうございます。

### 盗難防止装置

公共図書館にも関わらず、新しい図書館であるためか、BDS装置が設置されていました。しかし、公共図書館という施設の性格上、たとえBDSが反応したとしても、荷物の中を見せることを強制することは難しく、持っていないと言い張られてしまえば、対処のしようがないそうです。大学図書館などに設置してあるBDSは反応と同時にゲートが閉じるものが多いのですが、やはり、施設の性格上、この図書館のものはたんに鳴るタイプのものでした。また、いまだに携帯電話などに反応し、誤作動をしてしまうことがあるそうです。何も持っていないくても反応してしまう人もいるようで、体に鉄でも埋め込んでいるのでしょうか？(笑)



### ベストセラー

ハリーポッターやセカチュウ（「世界の中心で愛をさげぶ」）などのベストセラー本に対するリクエストは予想通り、かなり多く、ある程度の複本を揃えなくてはならないそうです。たとえば、ハリーポッターの第三巻のセットの場合、八王子市全体で500程度の予約待ちがあり、50冊程度の複本を揃えているそうです。しかしながら、そのようにして揃えても、すぐに予約分に対応するため、書架に並ぶのは数年先になるかも、ということでした。そういった点から、これらの本にどう対応するかは頭の痛い問題だそうです。

### 席貸し問題

新しい図書館であり、閲覧席の環境がかなりよいという印象を受けました。特にレファレンス室の席は快適そうでして、結果として、学生さんたちが学習机として利用する例があるそうです。図書館資料を利用しようとした他の利用者の方々から苦情がでることもあるそうですが、実際に館内資料を利用している学生さんもあるし（辞書を広げてカモフラージュしている学生さんもあるそうです）まじめに勉強している学生さんはそれはそれで心情的には使わせてあげたいそうで、対応には苦慮されているとのことでした。私が学生時代ころからのずっとある問題ですが、対処は難しいようです。

### 静粛な場としての図書館

一日に二、三千の利用者が来る日もあるほど人気がある図書館らしく、騒音があると苦情がくる場合があるそうです。児童コーナーも場所的に分離はしていますが、かなり多くの子供たちがやってくると、どうしても銅フロアにある雑誌コーナーにも音が漏れてくるそうです。話を聞いた職員の方は、「（人気がある図書館の宿命で）ある程度はしょうがないのではないか」とおっしゃっていましたが、まったく同感です。

## 児童コーナーのサインシステム

近くにある多摩美術大学の卒業制作で図書館の児童コーナー用のサインシステムを作った方がいらっしゃるそうで、それをそのまま図書館に贈ったそうです。図書館側は、特に署名等は出さない、という感じで、受け取ったらしいのですが、それが児童コーナーの入り口においてあって、この図書館の個性にもなっているのので、制作者や由来は書いてあげてもいいかなぁ、と思いました。図書館を勉強したことがない方が作っているためか、NDCの二桁目まですべて作成してあるようで、児童コーナー用であるのにも関わらず、かなり特殊な外国語のサインなども丁寧に作ってありました。書架のほうにはブックエンドに同じサインシステムが使われていました。



## 開架と閉架書庫

駅前の一等地にある複合施設内の図書館であるため、図書館の面積はそれほど大きくなく、雑誌や児童コーナーはまだしも書架が置けないため一般書の蔵書数を多くすることは難しいそうです。利用者の方からも蔵書を充実して欲しいとの希望もあったそうです。一方で、事務所スペースには閉架書庫があり、全体でみた蔵書能力はそれなりにあるようでした。以前なら、閉架書庫

にある資料の利用はあまりなかったようですが、OPAC やインターネット予約が充実したことで、けっこうな数の利用が出てきたそうです。

